

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年6月15日 (2017.6.15)

【公表番号】特表2016-517882(P2016-517882A)

【公表日】平成28年6月20日 (2016.6.20)

【年通号数】公開・登録公報2016-037

【出願番号】特願2016-511708(P2016-511708)

【国際特許分類】

A 6 1 K 47/24 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

A 6 1 K 47/22 (2006.01)

A 6 1 K 47/18 (2006.01)

A 6 1 K 47/20 (2006.01)

A 6 1 K 8/55 (2006.01)

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 K 8/365 (2006.01)

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/42 (2006.01)

A 6 1 Q 15/00 (2006.01)

A 6 1 Q 5/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/12 (2006.01)

A 6 1 K 31/167 (2006.01)

A 6 1 K 31/235 (2006.01)

A 6 1 K 31/137 (2006.01)

A 6 1 K 31/4406 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 47/24

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/12

A 6 1 K 47/22

A 6 1 K 47/18

A 6 1 K 47/20

A 6 1 K 8/55

A 6 1 K 8/34

A 6 1 K 8/365

A 6 1 K 8/49

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 8/42

A 6 1 Q 15/00

A 6 1 Q 5/00

A 6 1 K 9/12

A 6 1 K 31/167

A 6 1 K 31/235

A 6 1 K 31/137

A 6 1 K 31/4406

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月27日(2017.4.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも3重量%のリン脂質；  
少なくとも20重量%のC2 - C4アルコール；  
少なくとも0.05重量%の角質溶解剤、及び  
場合によっては2重量%までの水；

を含む薬学的若しくは化粧品学的キャリアーと、該キャリアーに溶解された薬理的若しくは化粧品学的活性剤とを含む局部用の薬学的若しくは化粧品学的組成物。

【請求項 2】

3重量%～60重量%のリン脂質；20重量%～90重量%のC2 - C4アルコール；  
0.05重量%～15重量%の角質溶解剤；0.001重量%～8重量%の薬理的若しくは化粧品学的活性剤；場合によっては更に2重量%までの水を含み、これらの成分は合計で100重量%までの量で添加される、請求項1に記載の組成物。

【請求項 3】

5重量%～55重量%のリン脂質；30重量%～85重量%のC2 - C4アルコール；  
0.05重量%～10重量%の角質溶解剤；0.001重量%～8重量%の薬理的若しくは化粧品学的活性剤；場合によっては更に2重量%までの水を含み、これらの成分は合計で100重量%までの量で添加される、請求項1に記載の組成物。

【請求項 4】

5～20重量%のリン脂質を含む、請求項1～3のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項 5】

10～20重量%のリン脂質を含む、請求項1～4のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項 6】

70重量%～90重量%のC2 - C4アルコールを含む、請求項1～5のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項 7】

該組成物は、0.5～8重量%の角質溶解剤を含む、請求項1～6のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項 8】

該C2 - C4アルコールがエタノールである、請求項1～7のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項 9】

該リン脂質がホスファチジルコリン(PC)を含むか、又はこれから実質的に成る、請求項1～8のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項 10】

該角質溶解剤がグリコール酸；乳酸；リンゴ酸；サリチル酸；アラントイン；尿素及びイオウから成る群から選ばれる、請求項1～9のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項 11】

該角質溶解剤が尿素である、請求項10に記載の組成物。

【請求項 12】

該薬理学的活性剤が、抗微生物剤；抗生物質；抗かび剤；抗菌剤；抗真菌剤；抗ウィルス剤；防腐剤；消炎剤；かゆみ止め剤；乾癬治療薬；鎮咳剤；抗脱毛剤；抗にきび剤；抗炎症剤；消炎剤；鎮痛剤；抗潰瘍剤；局部麻酔剤；及び免疫反応変更剤から成る群から選択される、請求項 1 ～ 11 のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項 13】

該薬理学的活性剤がペプチドである、請求項 1 ～ 12 のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項 14】

該化粧品学的活性剤が、制汗剤；抗発汗剤；フケ取り剤；流動促進剤；及び湿潤剤から成る群から選ばれる、請求項 1 ～ 13 のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項 15】

該組成物が室温で少なくとも3カ月間安定である、請求項 1 ～ 14 のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項 16】

該組成物は噴霧可能な形態にある、請求項 1 ～ 15 のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項 17】

リン脂質、C2 - C4 アルコール、及び角質溶解剤を含む局部用の薬学的若しくは化粧品学的キャリアーであって、該キャリアーは

少なくとも5重量%のリン脂質；

少なくとも20重量%のC2 - C4 アルコール；

少なくとも0.05重量%の角質溶解剤、及び

場合によっては2重量%までの水；

を含むキャリアー。

【請求項 18】

該キャリアーが、5重量%～60重量%のリン脂質；20重量%～90重量%のC2 - C4 アルコール；及び0.05重量%～15重量%の角質溶解剤を含む、請求項 17 に記載のキャリアー。

【請求項 19】

該キャリアーが、10重量%～55重量%のリン脂質；30重量%～85重量%のC2 - C4 アルコール；及び0.05重量%～10重量%の角質溶解剤を含む、請求項 17 又は 18 に記載のキャリアー。

【請求項 20】

該キャリアーが5 - 20重量%のリン脂質を含む、請求項 17 ～ 19 のいずれか1項に記載のキャリアー。

【請求項 21】

10～20重量%のリン脂質を含む、請求項 17 ～ 20 のいずれか1項に記載のキャリアー。

【請求項 22】

70～90重量%のC2 - C4 アルコールを含む、請求項 17 ～ 21 のいずれか1項に記載のキャリアー。

【請求項 23】

0.5重量%～8重量%の角質溶解剤を含む、請求項 17 ～ 22 のいずれか1項に記載のキャリアー。

【請求項 24】

該C2 - C4 アルコールがエタノールである、請求項 17 ～ 23 のいずれか1項に記載のキャリアー。

【請求項 25】

該リン脂質がホスファチジルコリン（PC）を含むか、又はこれから実質的に成る、請求項 17 ～ 24 のいずれか1項に記載のキャリアー。

【請求項 26】

該角質溶解剤がグリコール酸；乳酸；リンゴ酸；サリチル酸；アラントイン；尿素及び

イオウから成る群から選ばれる、請求項 17 ~ 25 のいずれか1項に記載のキャリアー。

【請求項 27】

該角質溶解剤が尿素である、請求項 26 に記載のキャリアー。

【請求項 28】

該キャリアーが室温で少なくとも3カ月間安定で有る、請求項 17 ~ 27 のいずれか1項に記載のキャリアー。

【請求項 29】

請求項 1 ~ 16 のいずれか1項記載の局部用の薬学的若しくは化粧品学的組成物の調製方法であって、

(a) 請求項 17 ~ 28 のいずれか1項記載のキャリアーを提供し；

(b) 薬学的若しくは化粧品学的活性剤を混合し；

(c) ステップ (b) で得られた混合物を、場合によっては加熱下で、透明な液体が形成されるまで攪拌する；

ことを含む調製方法。

【請求項 30】

請求項 1 ~ 16 のいずれか1項記載の局部用の薬学的組成物に含まれる薬理学的活性剤を投与するための、該組成物の使用。

【請求項 31】

該投与が噴霧による、請求項 30 に記載の使用。

【請求項 32】

薬学的組成物を局部投与することを含む、治療が必要な動物（ヒトを除く）の疾病を治療する方法であって、請求項 1 ~ 16 のいずれか1項記載の組成物を局部投与することを含み、該組成物は治療有効量の薬理学的活性成分を含む、治療方法。

【請求項 33】

該組成物が噴霧によって局部投与される、請求項 32 に記載の方法。